

※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

入札案件概要書 (コンサル)

契約番号 : 6401

件名	(仮称) 障がい者ケアセンター建設工事用地地質調査委託	
履行場所	海老名市社家二丁目 3449 番地ほか 3 筆	
期間	令和 6 年 4 月 16 日 ~ 令和 6 年 7 月 25 日	
契約の内容等	別紙 仕様書等 のとおり	
予定価格	8,426,000 円 (税込)	7,660,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格 (50%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税込) 100 万円以下の案件は除く。	<p>低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。</p> <p>契約締結にあたっての制限等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前払金額の制限 契約金額の 15% 以内 (海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限りませす。) ※前払金の上限金額は 5,000 万円以下 ○ 業務主任者及び管理技術者の他案件 (本市入札案件) との兼任不可 <p>契約保証</p> <p>契約金額の 30% 以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 ※現金納付及び実績による免除はありません。 (ア) 金融機関又は保証事業会社の保証 (イ) 公共工事履行保証証券による保証 (履行ボンド) (ウ) 履行保証保険契約の締結 (定額てん補)</p>	
入札方法等	条件付一般競争入札 (電子入札)	
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	306 地質調査(機器を用いる地質分析等)	
	発注区分 区分の詳細は入札公告で確認してください。	第 4 区分	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	<ul style="list-style-type: none"> ○管理技術者は、次のいずれかの資格を有すること。 ・技術士(総合技術監理部門－建設－土質及び基礎) ・技術士(総合技術監理部門－応用理学－地質) ・技術士(建設部門－土質及び基礎) ・技術士(応用理学部門－地質) ・RCCM(地質) ・RCCM(土質及び基礎) 	
	落札数制限	なし	
配置技術者について	本案件に配置する技術者等は、同じ開札日の他の案件に配置できません。		
事前提出書類 (システム添付)	なし		
落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	<p>開札後、落札候補者は次の書類を F A X で提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託業務主任者等選任届 及び 資格等 及び 3 ヶ月以上の雇用を確認できる書類 (雇用確認の書類は、原則として健康保険被保険者証の写し) <p>※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び保険者番号 (3 箇所) にマスキング(黒塗り)をして提出してください。</p>		

(仮称)障がい者ケアセンター建設工事用地地質調査委託

委託業務仕様書

海老名市

1. 契約名称 (仮称)障がい者ケアセンター建設工事用地地質調査委託

2. 履行場所 海老名市社家二丁目3449番地ほか3筆

3. 委託範囲 (仮称)障がい者ケアセンター建設工事に伴う地質調査を行う。

【調査概要】

掘削深度:L=32m(サンプリング1箇所採取共)	4	箇所
①φ66 粘性土・シルト	47.3	m
②φ86 粘性土・シルト	2.8	m
③φ66 砂・砂質土	29.6	m
④φ86 砂・砂質土	1.2	m
⑤φ66 礫混じり土砂	46.1	m
⑥φ86 礫混じり土砂	2.7	m
⑦標準貫入試験(粘性土・シルト)	49	回
⑧標準貫入試験(砂・砂質土)	30	回
⑨標準貫入試験(礫混じり土砂)	48	回
⑩孔内水平載荷試験	3	回
⑪サンプリング(ソウオールサンプリング)	1	本
⑫室内土質試験(土粒子の密度、土の含水比、土の湿潤密度、一軸圧縮、圧密)	1	式
⑬報告書作成・標本技術解析	1	式

4. 履行期間 着工 令和6年4月16日 から
完成 令和6年7月25日 まで

5. 設計図書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする
(1)委託業務仕様書(本書、環境配慮マニュアル) 5枚
(2)参考設計書(単価抜き) 4枚
(3)図面 2枚

6. 法令の遵守 本業務の実施にあたり、関係法令・規則等を確実に遵守すること。

7. 官公署手続 官公署手続きは、全て業者の責任と負担に於いて行うこと。


8. 特記事項

- (1) 設計図書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部制定「地質・土質調査業務共通仕様書(最新版)」による。
- (2) 管理技術者は、次のいずれかに該当する者でなければならない。
 - ① 技術士(総合技術監理部門(選択科目を土質及び基礎とするもの又は地質とするものに限る。)、建設部門(選択科目を土質及び基礎とするものに限る。))又は応用理学部門(選択科目を地質とするものに限る。))
 - ② シビルコンサルティングマネージャー(RCCM(専門とする技術部門を「地質」または「土質及び基礎」とするものに限る))の資格を有する者
- (3) 業務の円滑な推進を前提に、常に密接な連絡を取り、定められた期間内に業務を完了すること
- (4) 業務の遂行上必要な資料で、市側が所有するものは原則貸与し、業務完了と同時に返却すること
- (5) 業務の遂行上知り得た情報については、守秘義務を厳守することは基より、公共事業という認識と責務を果たすこと
- (6) 事業所管課との調整は、原則として監督員が行うものとし、必要に応じて監督員の要請により受託者も同席するものとする。
- (7) その他詳細及び疑義が生じた場合は、書面により協議すること
- (8) 各成果図書及び書類については、事前に監督員の確認を受けること
- (9) 成果品は全て発注者の所有とし、発注者の承諾を受けずに他に公表、貸与または使用してはならない。
- (10) 現地調査に際しての一切の費用は契約内に含むものとする。(調査時期については、各種管理者と協議の上、決定するものとする)
- (11) 第1回打ち合わせ時に業務施行計画書(実施方針、業務工程表を含む)を提出すること。また、やむを得ず業務の一部について、他社の協力を受ける場合には、業務委託協力会社承諾願を提出し、承諾を得ること
- (12) 既存建設物を有する敷地内の作業になるため、安全対策を十分に施すこと。また、仮囲い、搬入経路、工程及び作業上の注意事項等については、現場着手前に市担当者との協議の上、承諾を受けること
- (13) 本調査で生じる振動・騒音等については、特に注意し、付近住民や施設関係者とのトラブルについては、業者の責任において解決すること
- (14) 調査用電力・用水・電話等は業者負担とすること
- (15) 官公署手続きは、全て業者の責任と負担に於いて行うこと
- (16) 本市では海老名環境マネジメントシステムの取得に伴い、「契約事業環境配慮マニュアル」の適用となっている。よって、本委託は、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる事項について環境配慮を行うこと

9. 成果図書

No.	成果図書	内容	部数	備考
1	業務施行計画書	工程表、要領、安全対策等	1部	第1回打ち合わせ時に提出・調整
2	報告書	黒表紙、金文字製本	2部	標本は1部
3	標本	シンウォールサンプリング	1式	

※ 成果図書における使用品(ファイル等)については、再資源化の可能なものを使用すること。

 契約事業に関する環境要素

海老名市の契約事業における環境要素は以下の環境要素一覧表のとおりである。これらの環境要素は、生活環境並びに地球環境の保全及び向上を図るためにかかすことのできないものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑 ②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(3)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属等の鉱物資源 ②木材等の森林資源
	(2)大気	①自動車の排気ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		②公園、屋外体育施設などの砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの施設からの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
③契約業務実施により影響を受ける地下水		
(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面	
(5)建設副産物	①一般廃棄物 ②産業廃棄物 ③リサイクルできる排出物	
3 生活環境	(1)騒音	①業務実施に伴う作業機械の稼動による騒音
		②業務実施に伴う車両走行による騒音
		③公園、競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①業務実施に伴う作業機械の稼動による振動
②業務実施に伴う車両走行による振動 ③施設の空調機等電気・機械設備の振動		
(3)悪臭	施設等から排出される廃棄物等の悪臭	
(4)人の健康	①公園、競技場等屋外体育施設での健康増進、体力の向上	
	②薬剤等の使用による人への影響 ③事業活動によって生じる人への影響	
(5)地域生活環境	①公園、競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境	

□ 「計画・実施」時に配慮する事項

8. 工事設計業務委託

作業	配慮事項	環境要素
1	作成する設計書は、可能な限り再生紙の利用に努める。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
2	成果品等の作成は両面印刷等で行い、部数の削減及び紙の使用量の削減に努める。	1-(1)-① 2-(1)-②
3	現地調査にあたっては、作業効率を十分検討しCO ₂ の削減等に向けて車両の使用回数を控えるように検討する。	2-(1)-① 2-(2)-① 3-(1)-② 3-(2)-②
4	業務実施時に電力を使用する際は、節電に努める。	2-(1)-① 2-(2)-③

令和6年度

設計内訳書

委託件名 (仮称)障がい者ケアセンター建設工事用地地質調査委託

令和6年度

設計内訳書

設計用紙 甲

委託件名	(仮称)障がい者ケアセンター建設工事用地地質調査委託																										
委託場所	海老名市社家二丁目3449番地ほか3筆																										
設計金額	一 金 円 也																										
委託概要	<p>(仮称)障がい者ケアセンター建設工事に伴う地質調査を行う。</p> <p>【調査概要】</p> <p>掘削深度:L=32m(サンプリング1箇所採取共) 4 箇所</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>①φ66 粘性土・シルト</td> <td style="text-align: right;">47.3 m</td> </tr> <tr> <td>②φ86 粘性土・シルト</td> <td style="text-align: right;">2.8 m</td> </tr> <tr> <td>③φ66 砂・砂質土</td> <td style="text-align: right;">29.6 m</td> </tr> <tr> <td>④φ86 砂・砂質土</td> <td style="text-align: right;">1.2 m</td> </tr> <tr> <td>⑤φ66 礫混じり土砂</td> <td style="text-align: right;">46.1 m</td> </tr> <tr> <td>⑥φ86 礫混じり土砂</td> <td style="text-align: right;">2.7 m</td> </tr> <tr> <td>⑦標準貫入試験(粘性土・シルト)</td> <td style="text-align: right;">49 回</td> </tr> <tr> <td>⑧標準貫入試験(砂・砂質土)</td> <td style="text-align: right;">30 回</td> </tr> <tr> <td>⑨標準貫入試験(礫混じり土砂)</td> <td style="text-align: right;">48 回</td> </tr> <tr> <td>⑩孔内水平載荷試験</td> <td style="text-align: right;">3 回</td> </tr> <tr> <td>⑪サンプリング(シンウォールサンプリング)</td> <td style="text-align: right;">1 本</td> </tr> <tr> <td>⑫室内土質試験(土粒子の密度、土の含水比、土の湿潤密度、一軸圧縮、圧密)</td> <td style="text-align: right;">1 式</td> </tr> <tr> <td>⑬報告書作成・標本技術解析</td> <td style="text-align: right;">1 式</td> </tr> </table>	①φ66 粘性土・シルト	47.3 m	②φ86 粘性土・シルト	2.8 m	③φ66 砂・砂質土	29.6 m	④φ86 砂・砂質土	1.2 m	⑤φ66 礫混じり土砂	46.1 m	⑥φ86 礫混じり土砂	2.7 m	⑦標準貫入試験(粘性土・シルト)	49 回	⑧標準貫入試験(砂・砂質土)	30 回	⑨標準貫入試験(礫混じり土砂)	48 回	⑩孔内水平載荷試験	3 回	⑪サンプリング(シンウォールサンプリング)	1 本	⑫室内土質試験(土粒子の密度、土の含水比、土の湿潤密度、一軸圧縮、圧密)	1 式	⑬報告書作成・標本技術解析	1 式
①φ66 粘性土・シルト	47.3 m																										
②φ86 粘性土・シルト	2.8 m																										
③φ66 砂・砂質土	29.6 m																										
④φ86 砂・砂質土	1.2 m																										
⑤φ66 礫混じり土砂	46.1 m																										
⑥φ86 礫混じり土砂	2.7 m																										
⑦標準貫入試験(粘性土・シルト)	49 回																										
⑧標準貫入試験(砂・砂質土)	30 回																										
⑨標準貫入試験(礫混じり土砂)	48 回																										
⑩孔内水平載荷試験	3 回																										
⑪サンプリング(シンウォールサンプリング)	1 本																										
⑫室内土質試験(土粒子の密度、土の含水比、土の湿潤密度、一軸圧縮、圧密)	1 式																										
⑬報告書作成・標本技術解析	1 式																										
工 期	令和6年4月16日 から 令和6年7月25日 まで																										
特 記 事 項	別添委託業務仕様書に依ること。																										

内 訳 明 細 書

設 計 用 紙 乙

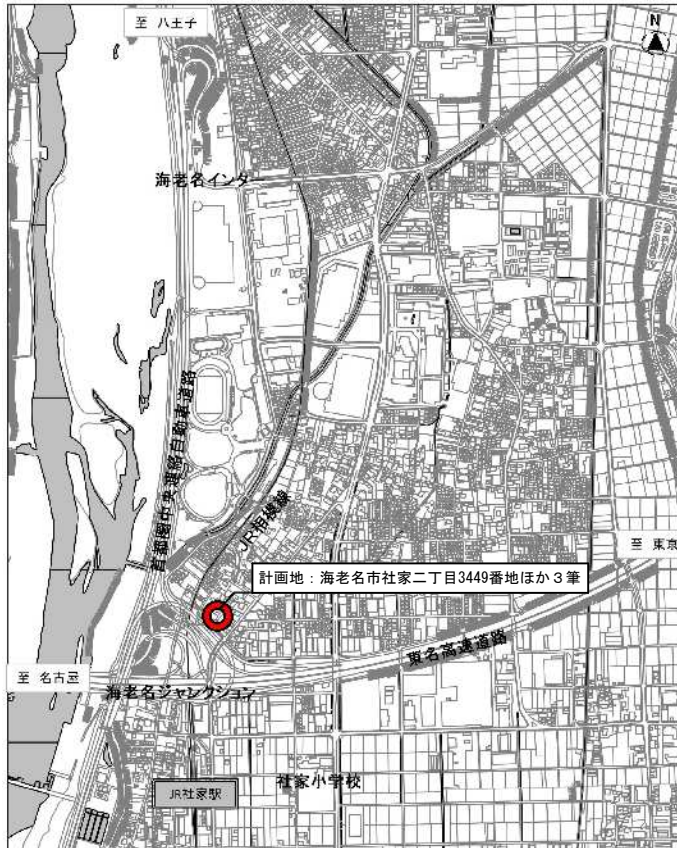
No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接調査費						
1	機械ボーリング	粘性土・シルト φ66mm	47.3	m			
		粘性土・シルト φ86mm	2.8	m			
		砂・砂質土 φ66mm	29.6	m			
		砂・砂質土 φ86mm	1.2	m			
		礫混じり土砂 φ66mm	46.1	m			
		礫混じり土砂 φ86mm	2.7	m			
2	標準貫入試験	粘性土・シルト	49	回			
		砂・砂質土	30	回			
		礫混じり土砂	48	回			
3	孔内水平載荷試験	普通載荷	3	回			
4	サンプリング	シンウォール	1	試料			
5	室内土質試験	土粒子の密度試験	1	試料			
		土の含水比試験	1	試料			
		土の湿潤密度試験	1	試料			
		土の一軸圧縮試験	1	試料			
		土の圧密試験	1	試料			
6	解析等調査業務費	資料整理とりまとめ	1	式			
		柱状図等の作成	1	式			
	直接調査費合計						

海 老 名 市

内 訳 明 細 書

設 計 用 紙 乙

No.	名 称	仕 様	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	間接調査費						
7	運搬費	資機材運搬・場内小運搬	1	式			
8	準備及び後片付け		1	式			
9	調査孔閉塞		4	箇所			
10	平坦足場		4	箇所			
11	環境保全		4	箇所			
12	施工管理費		1	式			
	間接調査費合計						
	直接調査費+間接調査費						
	諸 経 費		1	式			
	純調査費						
	消費税相当額	10%	1	式			
	計						

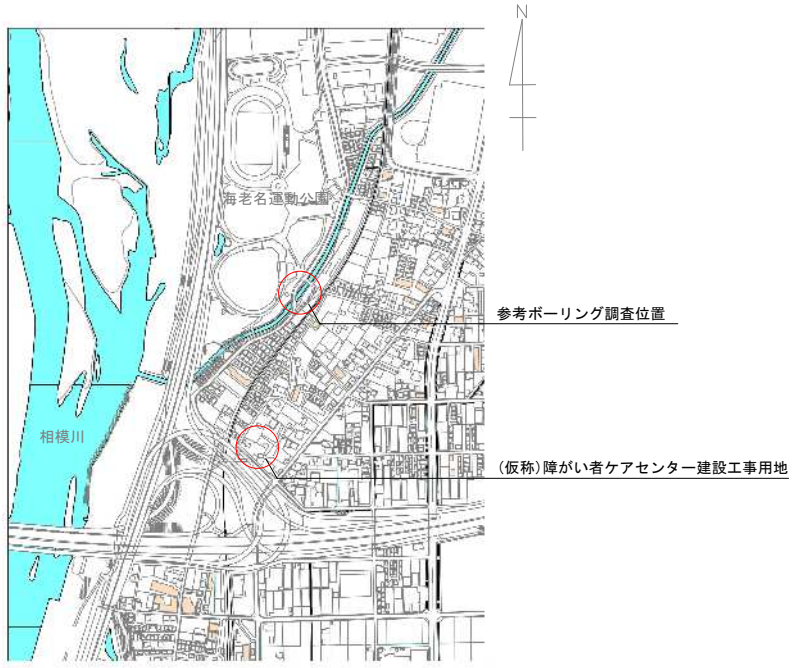


案内図 (NS)

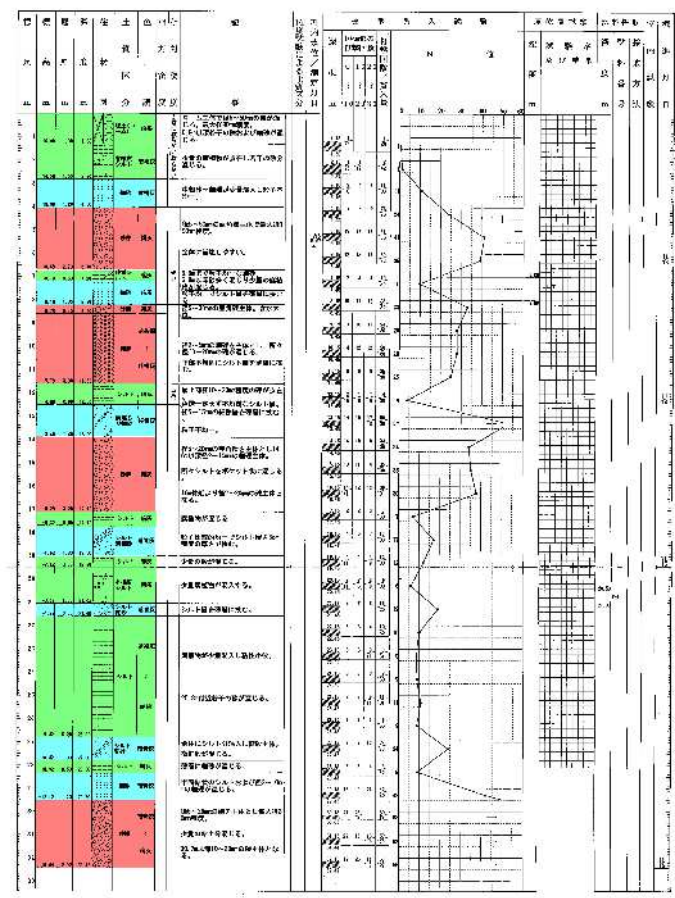


敷地図 (S=1/500)

※この図面は参考図であり、現状とは異なる場合があります。
 ※ボーリング位置に関しては、契約後に設計者および市担当者との協議の上、決定することとします。



(参考) ボーリング位置案内図 (NS)



ボーリング柱状図

※この図面は参考図であり、現状とは異なる場合があります。
 ※ボーリング位置に関しては、契約後に設計者および市担当者との協議の上、決定することとします。